

2014年12月10日 全4頁

【統計情報】暮らしが見えるグラフ24 (2014年12月号)

データバンク課

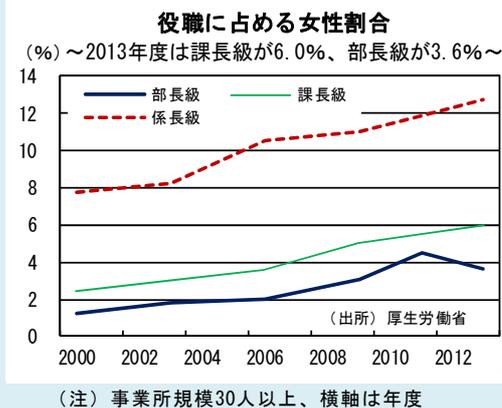
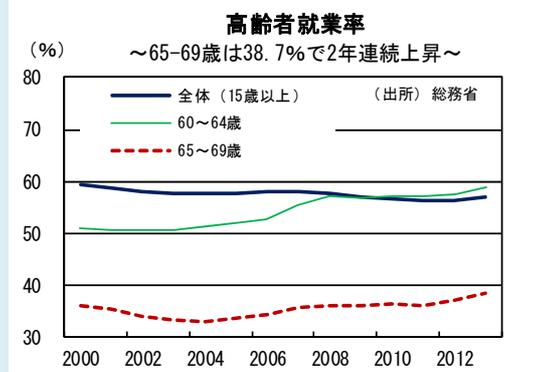
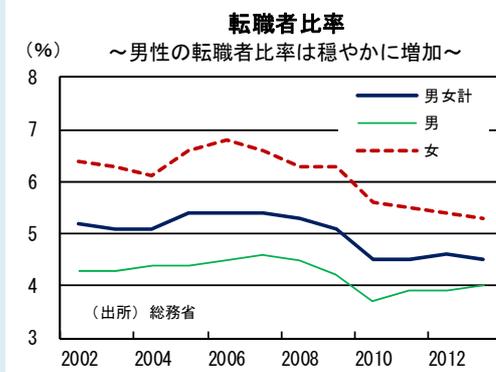
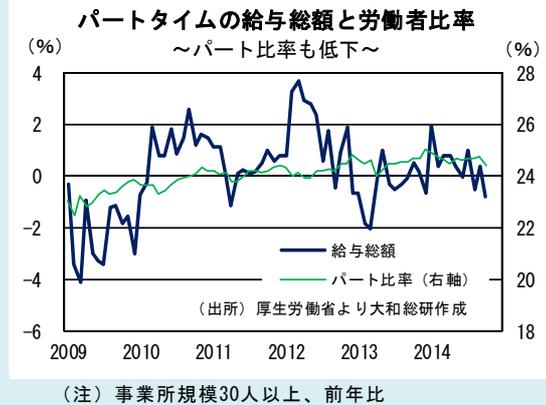
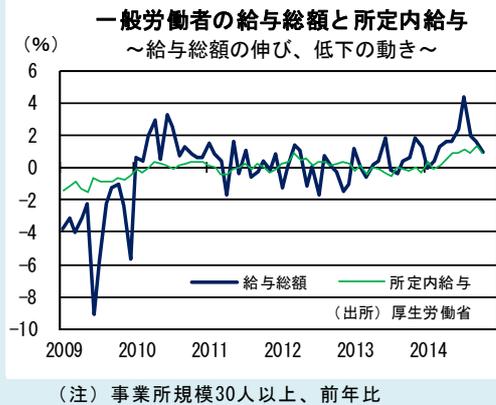
[目次]

- I. 仕事のこと
 1. 一般労働者の給与総額と所定内給与
 2. パートタイムの給与総額と労働者比率
 3. 労働時間と残業時間
 4. 完全失業率と有効求人倍率
 5. 転職者比率
 6. 高齢者就業率
 7. 役職に占める女性割合
 8. 年次有給休暇取得率
- II. 家庭のこと
 1. 実質消費支出
 2. 消費者物価指数
 3. 光熱費総額と電気代
 4. 教育関係費・医療費
 5. 首都圏マンション販売
 6. 新車販売台数
 7. 金融資産保有状況
 8. 負債保有一世帯当たりの負債額
- III. 社会のこと
 1. 暮らし向きDIとゆとりがなくなった理由
 2. 第一子出産年齢別百分率と合計特殊出生率
 3. 保育所待機児童数と保育所利用率
 4. 要介護及び要支援認定者の割合
 5. 在留外国人数
 6. 子どもがいる現役世帯の貧困率
 7. 空き家率
 8. 情報通信端末の世帯保有率の推移

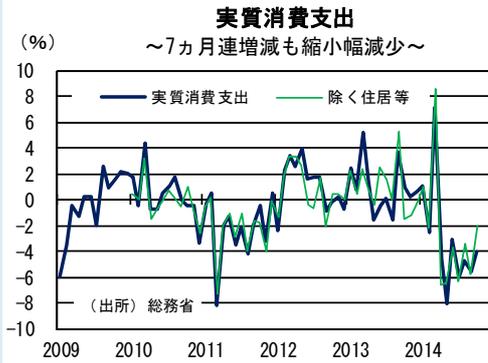
当資料は12月9日までの公表データで作成しています。

* 大和総研のウェブサイトでは、当レポートの関連データ集も公開しております。ご活用頂ければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

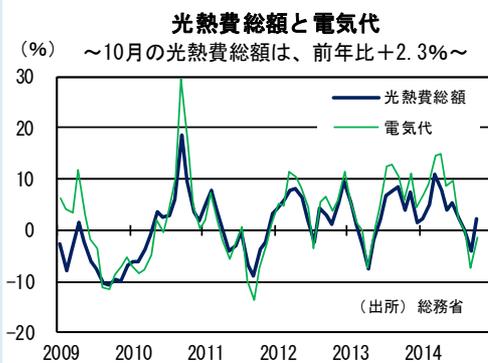
I. 仕事のこと



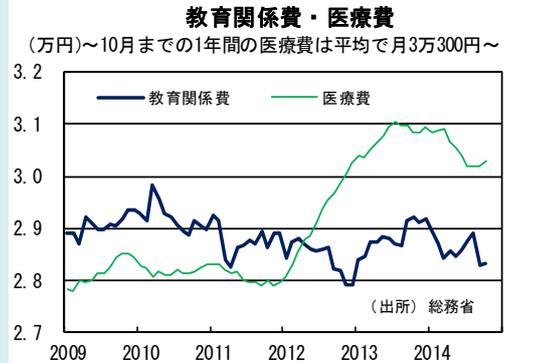
II. 家庭のこと



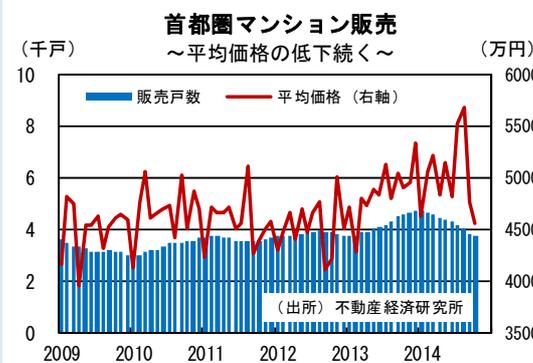
(注) 前年比



(注) 二人以上世帯一世帯当たり、前年比



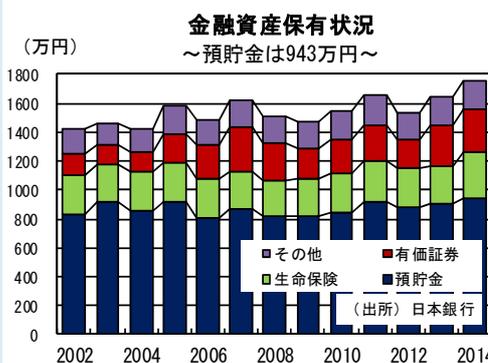
(注) 勤労者一世帯当たり(農林漁家世帯を除く) 月額、医療費は健康保険料を含む、12ヵ月移動平均



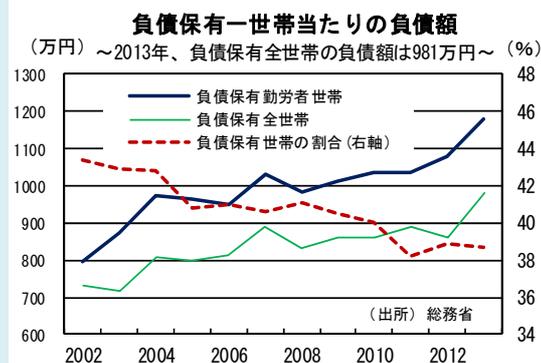
(注) 販売戸数は12ヵ月平均、新規物件



(注) 前年比、乗用車ベース



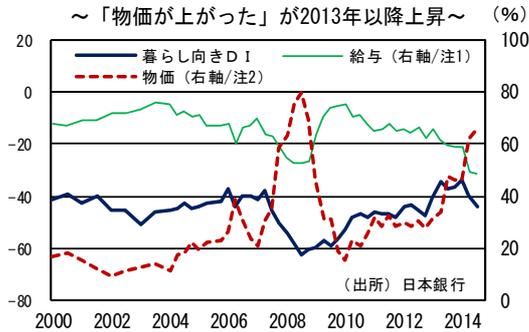
(注) 金融資産保有世帯で二人以上の世帯



(注) 二人以上世帯で負債保有世帯の中央値

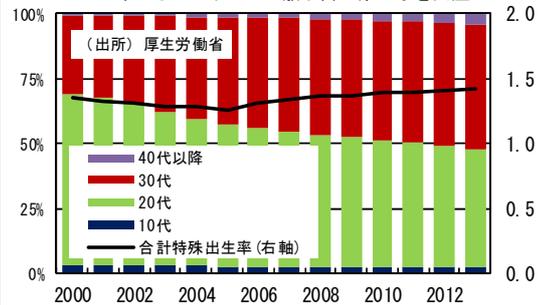
Ⅲ. 社会のこと

暮らし向きDIとゆとりがなくなった理由
～「物価が上がった」が2013年以降上昇～

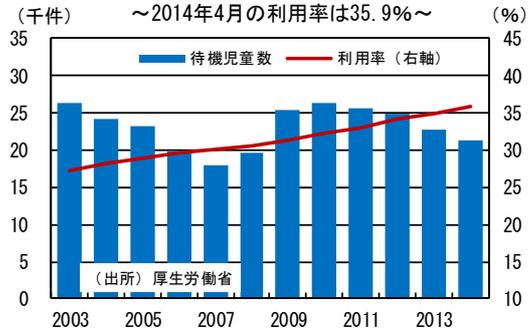


(注1) 給与：給与や事業等の収入が減ったため
(注2) 物価：物価が上がったため

第一子出産年齢別百分率と合計特殊出生率
～2012年から50%以上が30歳以降に第一子を出産～

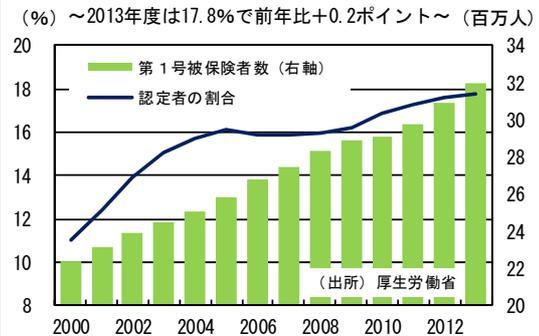


保育所待機児童数と保育所利用率
～2014年4月の利用率は35.9%～



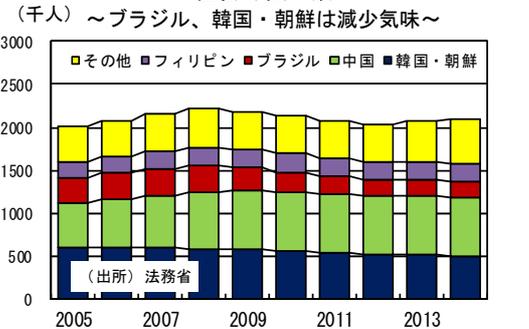
(注) 各年4月現在
保育所利用率は、保育所利用児童数÷就学前児童数

要介護及び要支援認定者の割合



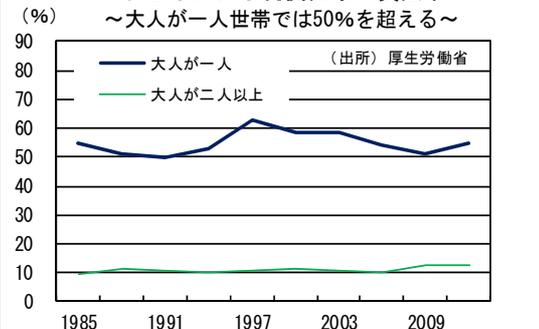
(注) 第1号被保険者(65歳以上)を対象、横軸は年度
2013年度は暫定値

在留外国人数



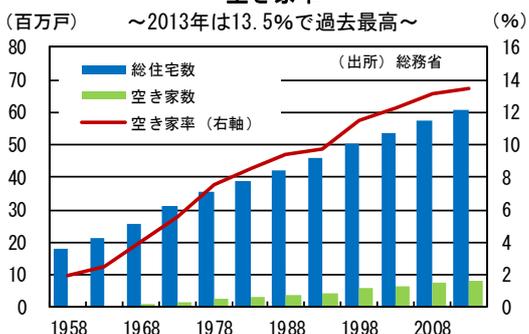
(注) 2011年以前は登録外国人数
中国には台湾・香港・マカオを含む、2014年は6月末時点

子どもがいる現役世帯の貧困率



(注) 貧困率とは、等価可処分所得の中央値の半分の額に満たない世帯員の割合

空き家率



情報通信端末の世帯保有率の推移

